

**(公財) 日本ソフトボール協会創立 70 周年記念大会**  
**第 18 回全日本一般男子ソフトボール大会北海道予選会開催要項**

1. 主催 北海道ソフトボール協会
2. 主管 札幌ソフトボール協会
3. 会期 2019年6月8日(土)～9日(日)  
※大会は、上記の期日で打ち切る。全日本大会の代表が決定していない場合は、代表決定戦を行う。日時・場所は北海道派遣理事と当該チームと協議し、北海道協会が決定する。
4. 会場 天使大学中沼グラウンド[札幌市東区中沼町14-9]
5. 参加チーム数 参加チーム数の制限は設けない。  
但し、6. 参加資格、7. 出場資格の条件を満たしていること。
6. 参加資格 (1) 令和元年度北海道ソフトボール協会に各地区協会を通して加盟登録したチームに限る。  
(2) 所属長が身体、人物共に適当と認められた者。  
(3) 本北海道予選会において優勝した場合は、理由の如何を問わず全国大会に北海道代表として参加でき得るチームであること。
7. 出場資格 (1) 本大会に出場するチームは、所定の予選会、または、推薦を経て出場権を得たチームに限る。  
(2) チーム編成は、最終予選終了時までに北海道ソフトボール協会に登録した者の中から編成すること。なお、本大会参加申込み以後のメンバー変更は認めない。  
(3) チームの編成は、次の通りとする。  
監督1名、コーチ2名、スコアラー1名、選手25名以内。  
但し、監督、コーチ、スコアラーが選手を兼ねる場合は選手登録をしなければならない。  
※スコアラーとしてベンチ入りする場合は、公式記録員の有資格者であること。  
※監督・コーチの中に次の①～④の資格を有する者がいること。  
監督・コーチが資格を有していない場合においては、チームの中に有資格者(監督代行になり得る者)がいなければならない。  
① コーチ1(指導員) ② コーチ2(上級指導員)  
③ コーチ3(コーチ) ④ コーチ4(上級コーチ)  
※有資格者は、登録証を携帯し、受付時、監督会議等に大会競技委員長に提示を求められた場合には必ず掲示しなければならない。有資格者を確認できない場合は、没収試合になることがある。
8. 申込方法 出場資格を得たチームは、別紙関係用紙に必要事項を明記の上、各関係の認印を受け5月18日(土)までに到着するよう郵送で下記あてに申し込むこと。  
(1) 〒062-0905 札幌市豊平区豊平5条11丁目1-1  
北海道立総合体育センター内  
北海道ソフトボール協会 宛: 参加申込書のコピー<1通>  
(2) 〒003-0001 札幌市白石区東札幌1条4丁目5-1-706  
札幌ソフトボール協会 石原 ヒサ子 宛  
(参加申込書原本、プログラム掲載用選手名簿)  
TEL・FAX 011-833-1977
9. 参加料 1チーム 25,000円  
上記申込期限までに、10. 保険料とともに下記あてに振り込むこと  
北洋銀行 清田区役所前支店 店番号: 497  
口座番号 普通 3562441  
札幌ソフトボール協会 会計小笠原美登里(オガサワミドリ) TEL011-882-4598

10. 保 険 料 参加申込書に記載の人数×60円（監督、コーチ、スコアラーも含み、  
申込用紙に記載されている方全員）
11. 競 技 規 則 2019年オフィシャルソフトボールルールによる。
12. 試 合 球 （公財）日本ソフトボール協会検定革製3号球（ナガセケンコー製）とし、  
毎試合毎、各チーム2個の持ち寄りとする。
13. 試 合 方 法 トーナメント方式とする。  
（1）90分を過ぎて新しいイニングに入らない。制限時間経過後同点の場合  
は次のイニングからタイブレーカーにより試合を続行する。但し、  
タイブレーカーは2イニングまでとし、タイブレーカーで2イニング  
終了してもなお同点の場合は、抽選により勝敗を決定する  
（2）決勝については時間制限を設けず、オフィシャルソフトボールルール  
とする。  
（3）サスペンデッドゲームを採用する。
14. 表 彰 （1）優勝チームに表彰状を授与する。  
（2）準優勝チームと3位チームに表彰状を授与する。
15. 費 用 出場選手の旅費・滞在費はすべて出場チームの負担とする。
16. 組 合 せ 抽 選 試合の組合せは5月21日（木）北海道ソフトボール協会において、主催者、  
主管協会立ち会いのもとに公開 代理抽選において決定する。
17. 監 督 会 議 6月8日（土）8時30分より天使大学中沼グラウンドにおいて開催する。
18. 審判・記録会議 6月8日（土）監督会議終了後同上にて開催する。
19. 開 会 式 6月8日（土）9時00分より天使大学中沼グラウンドにおいて開催する。
20. 傷 害 大会参加者の行事参加中の傷害事故については、応急の処置のほか主催者は一  
切の責任を負わない。各自健康保険証を持参すること。大会参加者（大会申込  
書に記載されている者全員、監督、コーチ、スコアラーも含む）は主催者が加  
入する傷害保険に加入して参加すること。（保険料については別途徴収する）  
＜補償内容：死亡、後遺障害 最高450万円 入院日額4000円（事故日  
から180日以内） 通院日額2500円（事故日から180日以内の通院9  
0日限度）＞
21. そ の 他 （1）出場チームの監督（責任者）は、当該チームを掌握すること。  
（2）北海道大会で棄権及び不正選手出場チームの取扱いについては以下の通  
りとする。  
①棄権チームに対する処置：当該年度及び次年度の公式試合の出場停止  
※組合せ抽選終了後の出場辞退（チームの変更も含む）も大会期間中の  
棄権とみなし、上記と同様の処置とする。  
なお、事故等による理由により棄権する場合は、上記規定は適用しない。  
又、この決定については、北海道協会派遣理事及び大会競技委員で行う。
- ※全日本大会、東日本大会、北海道・東北大会の権利獲得後の出場辞退  
についても同様の取り扱いとする。
- （3）雷がかすかに聞こえたら、ただちに試合を中断する。  
（4）チームの宿泊先及びその所在地、電話番号等を大会事務局へ連絡するこ  
と。  
（5）ベンチに入る人数は、本大会登録人数とする。  
（6）その他詳細については、参加チームに直接連絡すると共に、監督会議で  
定める。  
（7）開会式は監督、コーチ、プレーヤー全員参加すること。9名以上の（試  
合が成立する人数）の参加ができないチームは原則として棄権とみなす。